

2026年、新しい年が始まりました。校門前に広がる海は、荒々しい冬の表情をみせています。1月8日から3学期が始まり、書初め大会では、事前にしっかり練習を重ねてきたことが伝わる、力強くのびのびとした作品が並びました。校内は子どもたちの元気な声が響き、授業にも張り切って取り組んでいます。避難訓練や校内百人一首大会等の行事にも、真剣な表情で向き合う姿が見られ、3学期のよいスタートを切ることができました。

この3年間、長期休暇明けには「校長先生へ」という手紙を書いてもらっています。この冬休み明けには、今年の「夢や目標」に加えて自分の「推し(おし)」とその良さを教えてもらいました。「推し」の意味を検索すると、「人に薦めたいほど好感を持っている人や物を指す俗語」といった意味が出てきます。今回このテーマを選んだのは、近年は児童との何気ない会話の中で「推し」についての話題も多くなり、少し驚きを感じていたからです。

子供たちの「夢や希望」はそれぞれが自分自身を見つめ、自分も伸びたいと思う素直な思いが伝わってきて、私自身の夢や希望にもなりました。おかげで意欲的に一年が始められます。「推し」については、「先生は多分知らないだろう」と一生懸命説明してくれていました。その子らしい前向きな思いが伝わってきて、好きなものや人に薦めたいことがあることは、日々を明るくし、人生を豊かにしてくれるのだと、子どもたちから教えられました。

3学期は短い学期ですが、一年間のまとめと次の学年への大切な準備の時期です。児童一人一人の成長に向け、教職員一同、夢と希望をもって取り組んでいきたいと思います。保護者・地域の皆様には本校の教育活動に対する温かいご支援とご理解を頂きますよう、本年も何卒宜しくお願い致します。

校長 角 みのり



避難訓練で姿勢を低くし頭部を守る「ダンゴムシポーズ」の児童の様子

1/8 書初め大会

3学期始業式の後には、書初め大会が行われました。1・2年生は濃い鉛筆とフェルトペンで、3～6年生は太い筆で書きました。どの学年でも、冬休みに練習した成果が感じられ、緊張した空気が張り詰めた中、字を丁寧に、最後まで集中して書き上げていました。新年にふさわしい、気持ちの引きしまる1日となりました。



1/14 3校合同集合学習(正院小)

正院小学校にて、正院小・蛸島小・みさき小の3校合同による集合学習を行いました。今回は1年生から6年生まで、学年ごとに分かれて授業を実施しました。どの教室でも、友達と交流しながら、楽しく意欲的に学習に取り組む子どもたちの姿が見られました。



1年 図工



2年 国語



3年 社会



4年 理科



5年 国語



6年 算数

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	令和8年度入学説明会・お招き会	冬の体験遠足 (柳田植物公園)		なわとび集会	小中連携レクリエーション	
8	9	10	11	12	13	14
		小中連絡会	建国記念の日 生涯学習大会	たんぼぼさん読み聞かせ		
15	16	17	18	19	20	21
	安全点検 スポーツ庁体育授業	わくわくタイム	指導主事訪問		6年生を送る会	
22	23	24	25	26	27	28
	天皇誕生日	三崎地区学校運営協議会	委員会		児童集会	

※令和7年度卒業式は、

3月17日(火)の予定です。

6年生を送る会 2/20(金)13:30~15:00

7名の6年生へ、お祝いの気持ちを込めて、各学年から5分程度の出し物を行います。体育館にて行いますので暖かい格好でお越しください。

1/16 音楽特別授業「箏を演奏しよう」

箏の濱塚貴婦子先生(飯田町)をお招きして箏の演奏体験をしました。お箏の爪の付け方、指の立て方や手の置き方を教えていただいた後、「さくらさくら」「チューリップ」「春の小川」の3曲に挑戦しました。爪ではじく弦の音色を味わいながら、日本特有の楽器に親しむことができました。



1/14 サッカー協会より元日本代表選手が来校

元サッカー日本代表の方々が来校され、子どもたちにサッカーを教えてくださいました。子どもたちは、元気いっぱいにボールを追いかけて、笑顔でサッカーを楽しんでいました。指導を通して、ルールを守ることやチャレンジすることの大切さを学ぶことができました。



1/21 百人一首大会

低・中・高学年ごとに分かれて行いました。中には、上の句を少し聞いただけで札を取れる子もいて、冬休み中に「百人一首張ろうカード」に取り組んだ成果も見られました。日本の伝統文化にふれる機会となりました。



投稿者コーナー

毎月23日の「いしかわ読書の日」に合わせて、職員と図書館司書先生による「わくわくタイム」を実施しています。低中高に分かれて各ワークスペースで本の読み聞かせを行い、児童たちの読書への関心を促しています。今月は、延田先生、國永先生、司書の袖先生が各ワークスペースで読み聞かせをしました。中学年ワークスペースでは、「続きは自分で借りて読んでみましょう」と閉じられた本に、児童たちから「続きが気になる!」とたくさんの声が上がっていました。



1月に図書館に入った新書は、これまでのシリーズ物の続編や、児童のリクエストを多く取り入れています。これからも読書に取り組む児童が増えるように、創意工夫していきます。(図書担当：谷祐希)